

平成  
22年度

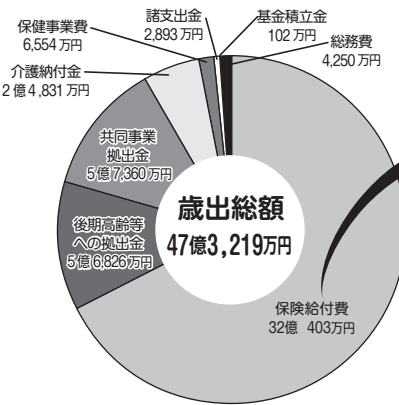
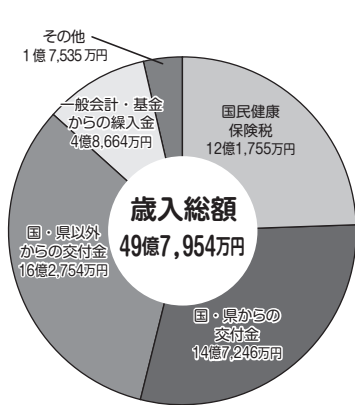
# 特別会計

主事業の  
決算

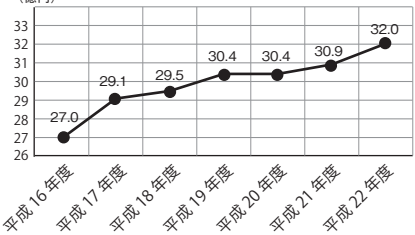
市の財布には、通常にお金を出し入れする「一般会計」と、特定の事業のためのお金を出し入れする「特別会計」「公営企業会計」があります。今回は、六つの特別会計の歳入・歳出（平成22年度決算）と、それぞれの主な使い道の推移をグラフにしました。

## 国民健康保険事業

国民健康保険に加入している人が、病気やけがで診療を受けたとき、その医療費（本人負担分を除いた費用＝保険給付費）を負担しています。



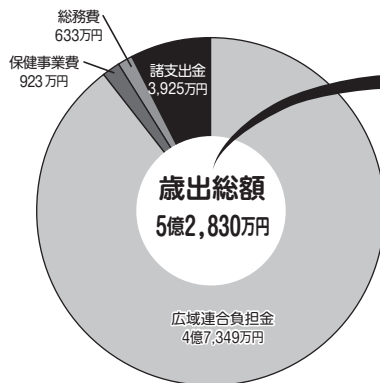
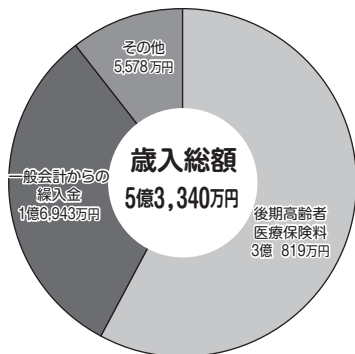
### 保険給付費の推移



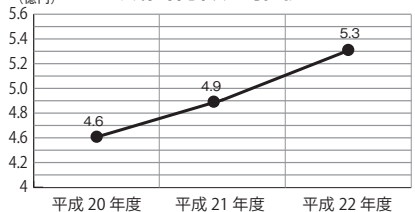
保険給付費（医療費のうち本人負担を除いた費用、高額療養費など）は、平成22年度では32億円超となりました。また、後期高齢者医療制度に拠出する後期高齢者支援金は、5.6億円超となりました。高齢化社会等の影響を受けて、医療費の増大が懸念されるところです。

## 後期高齢者医療事業

75歳以上の高齢者は、後期高齢者医療制度に加入します。運営は岐阜県後期高齢者医療広域連合が行い、市は保険料の徴収や、各種申請などの窓口業務を行っています。



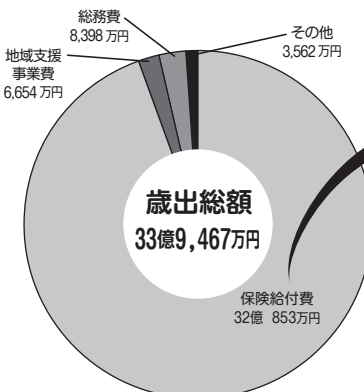
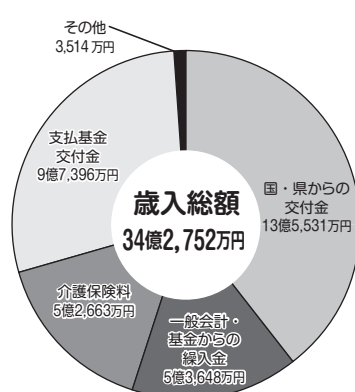
### 歳出総額の推移



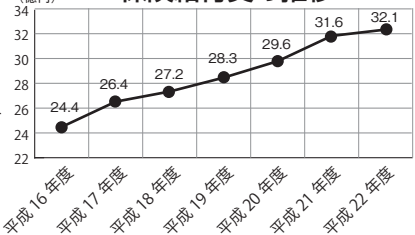
歳出総額は、被保険者数の増加などにより平成22年度は5億3千万円、そのうち広域連合に支出している保険料等の負担金が4億7千万円と89.6%を占めています。

## 介護保険事業

介護や支援が必要になったときに介護サービスや介護予防サービスを提供し、保険加入者とその家族を支援します。サービス費用のうち、本人負担を除いた費用（保険給付費）は国保連合会等を通じて事業者等へ支払われています。



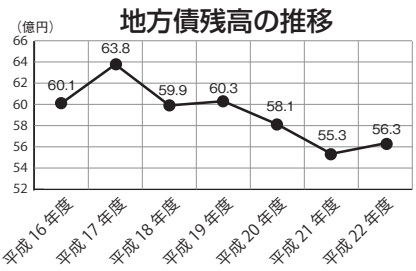
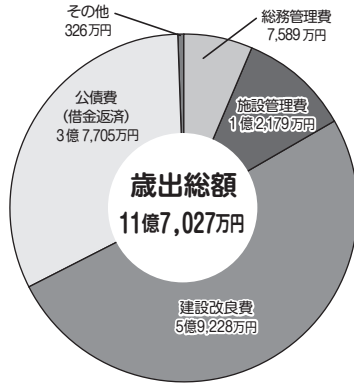
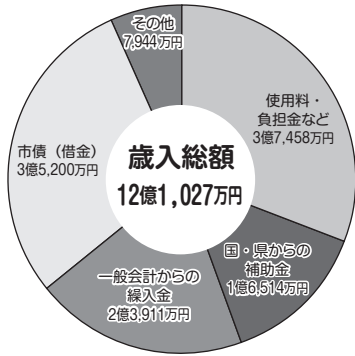
### 保険給付費の推移



保険（介護）給付費は高齢者人口の増加とともに介護（支援）認定者も増加し、介護（予防）サービスを利用される人も年々増加しています。

## 簡易水道事業

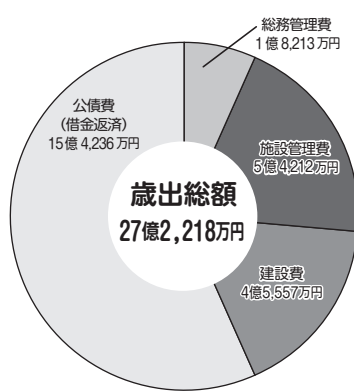
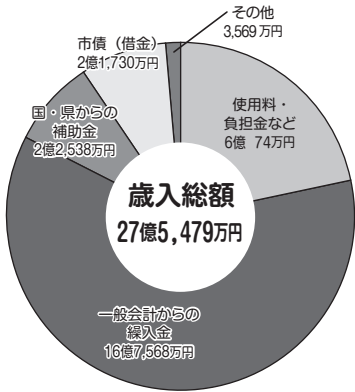
簡易水道とは、給水人口が100人を超え5,000人以下の施設をいいます。施設の適正な維持管理を行い、安心安全な飲料水の供給に努めるとともに、未普及地区への施設整備に取り組んでいます。これらの施設の整備のために借り入れたお金の残高（地方債残高）の推移は、下のグラフの通りです。



H22年度末残高は56.3億円となっており、H16年度と比べ減少していますが、施設の老朽化に伴い更新事業が必要となっており、今後新たな起債の発行が見込まれます。

## 下水道事業

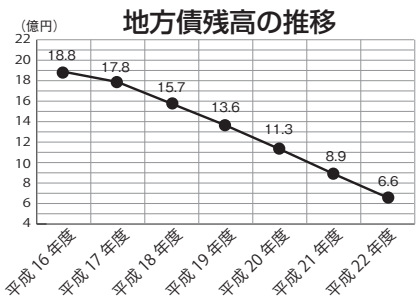
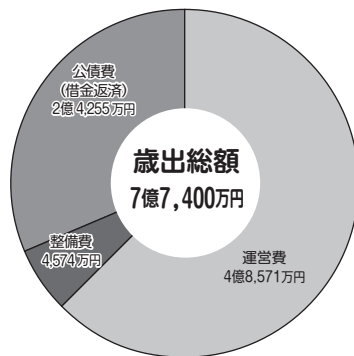
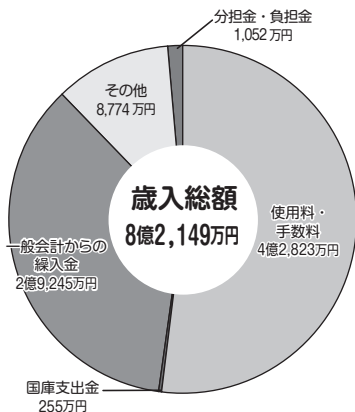
下水関連処理施設及び市型合併処理浄化槽の適正な維持管理を行うとともに、快適な暮らしと良好な環境づくりのため施設整備に取り組んでいます。これらの施設の整備のために借り入れたお金の残高（地方債残高）の推移は、下のグラフの通りです。



下水道整備が終盤を迎え、H19年度以降、地方債残高は減少し、H22年度末残高は218.8億円となっており、H16年度と比べ29.2億円の減少となっています。

## ケーブルテレビ事業

ケーブルテレビ放送による行政情報番組、データ放送での防災・生活情報の提供や、インターネットの通信環境の向上に努めています。施設整備のために借り入れたお金の残高（地方債残高）の推移は、下のグラフの通りです。



開局当初に借り入れた地方債以後、加入者からの安定したテレビ使用料、ネット利用料の増、及び一般会計繰入金（行政負担分）の収入で運営し、新たに地方債の借入れを行っていないため、減少しています。

## 上水道事業会計

上水道とは、給水人口が5,000人を超える施設をいいます。八幡市街地を中心とした区域と、白鳥市街地を中心とした区域の2カ所を運営しています。合併当初より安定した経営が続いています。

年度別純利益の推移（純利益＝収益－費用） 【単位：千円】

年度	16	17	18	19	20	21	22
純利益	15,268	21,586	29,489	24,048	27,410	28,073	26,337

## 公営企業会計

郡上市市民病院と国保白鳥病院を運営する会計です。合併当初から赤字経営が続いていましたが、平成21年度からの改革プラン実施により改善が図られ、平成22年度は黒字となりました。さらなる安定経営をめざしています。

年度別純利益の推移（純利益＝収益－費用） 【単位：千円】

年度	16	17	18	19	20	21	22
純利益	-237,269	-363,660	-334,499	-613,262	-321,465	-163,056	50,358

## 病院事業会計